

特殊車両の適正運行の促進 好事例

確認の徹底(A)    教育強化(B)    情報の共有(C)    荷主への対応(D)    その他(E)

## 株式会社 平野重機



運行前の確実な確認と荷主と連携した遵奉対策

### 会社概要

飛騨高山で平成6年に「重機運送事業」からスタートし、現在は一般貨物自動車運送のほか、ユニットハウスのレンタル・販売、溶接（板金）修理、敷鉄板曲がり修理、除雪作業なども行っています。

各業務については「安全第一」を最重視に考えて行っております。



### 取組概要

#### 事例① 運行前のルート確認及び運行条件の確認と指示(A)

運行管理者と特車担当ドライバーにて、特車の運行が適正に行われるように特車通行許可証を出発前に直接確認して、運行経路・運行条件の内容等を再確認し、運行管理者はドライバーに対して特車制度の法令遵守を指導している。

#### 事例② 誘導車との事前打ち合わせの徹底(A)

運行管理者は、特車担当ドライバーと誘導車のドライバーに対して、出発する前の事前打ち合わせを徹底することで、誘導車が配置していることを確認するほか、運行中に一般車両の妨げにならないよう配慮した運転についても指示を与え交通事故防止にも努めている。

#### 事例③ 積載物の寸法や重量の確認(A)

積載物については、寸法及び重量を各メーカーカタログにて確認しているほか、出発前に実際の積載状況を運転手と誘導車2名にて高さ、幅、長さの確認と固縛に問題ないか確認後運行させている。

#### 事例④ 荷主との事前打ち合わせによる信頼関係の醸成(D)

荷主の発注者から事前に、荷下ろし先の場所を指示頂き、ルート等を含めた協議を実施していることから、信頼関係を確立し良好な関係を保っている。

#### 事例⑤ 通行経路途中での休憩場所や交差点等の分かる写真撮影に心掛けている(E)

運行条件にC、D条件がある場合は、運行終了後にタコグラフの提出と、出発地、通行経路途中における休憩地点、目的地の運行姿写真を保存することを徹底している。



取組④ 荷主との打ち合わせ状況



取組⑤ 誘導車両・夜間走行の状況



取組⑤ 夜間における運行姿の状況